

2021年度

第2回

学校関係者評価委員会報告書

於：令和4年2月

学校法人長野県理容美容学園

長野理容美容専門学校

第2回学校関係者評価委員会 報告書

日時：令和4年2月25日（金） 9：30～12：30

場所：長野理容美容専門学校 校長室

出席者：（有）アルファ代表取締役 杉山 一真先生

（有）早川美容商事サロン企画マネージャー 早川 芳弘先生
松林校長・吉川事務局長・柏原教務主任・桐山広報企画部長

○松林校長より

令和3年度においては、新型コロナウイルス影響により学校運営の滞りがないうよう、対策を万全にすることと、在校生満足度をあげるための行動を軸にやってきました。

今後もより一層ステップアップしていくため、自己評価を反映していきたいので、忌憚ないご意見を出して頂きたい。

【議題】

1. 令和3年度第2回自己評価委員会報告

令和3年度自己評価・自己点検中間報告について（資料1）

令和3年度報告として、教育理念の2項目・学校運営の3項目・教育活動の5項目・学修成果の3項目・学生支援5項目・教育環境の3項目・学生募集と受け入れ3項目・法令等の遵守の2項目について、評価4について継続的に向上した部分を報告、評価4を今まで以上により内容の濃いものにしていく必要がある。

新型コロナウイルスの影響がある中、先生方の努力により、コロナ感染者を出さずにいてくれる事を評価している。

（基準1） **総括** 環境の整備と並行し教育内容の充実を計り、豊富な技術力と人間性豊かな指導者に成長できる。その結果各種資格試験の高合格率や各種コンテストにおいて常に全国上位を位置し続けている。また美容業界で幅広く活躍できる人材を多く輩出している。

- ・生徒満足度向上のため、生徒会中心に企画運営する組織の構築
- ・県内唯一の美容学校として、地元地域の業界全体の発展のため、地元で学び地元で高度な技術を提供できる人材の育成の発展と充実。
- ・美容科授業に連携企業の現役美容師や各種スペシャリストを委託。1学年では引き続きカット授業に3店舗のサロン講師に授業をしていただいている。2学年ではより深くまで習得できるようにアップセット・ネイル・メイク・ブライダル・カットのうち2課目の選択をして授業を行った。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・生徒会中心に学校PRとして、インスタを活用している事はとても大事だと感じた。自主性を持って行動できる人材は、社会で役立っていくのでは。
- ・地元地域発展のためとの事だが、地元サロンへの就職数は増加したのか？
→現状変化はない。地元6割。県外4割。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・学校として、大変な中きちんと対策をしてくれていて、ありがたい。努力・工夫をしていることは素晴らしい。

今後の改善方策

- ・今後の課題として、今まで以上に地元で貢献できるようになっていきたい。

(基準2) **総括** 第8次5か年計画(令和2年～6年)を策定し、学校教育の充実、経営面の名良、的確な運営処理、危機理体制、施設設備の充実を行う。

校舎改築に伴い、長野朝日八十二ビルにて学校運営を行う。

JNA日本ネイリスト協会認定校となる。

新校舎竣工予定

- ・教育内容・教育環境の向上のため新校舎建築事業の推進
- ・令和4年3月新校舎完成に向けて建築事業を進めていく。
- ・精神障害やメンタルの弱い生徒に対する指導の充実を図るための教員の養成や人員の確保
- ・校長が勤務評価表に基づいて評価を実施している
- ・令和3年1月ビューティビジネス科教員を1名採用
- ・現代に合った教育内容に対応できる人材の確保と育成
- ・感染拡大防止のため、新たに自宅学習の履修を構築した。生徒の履修のエビデンスは、手作業になってしまう
- ・学校見学やオープンキャンパスから入学、在籍中の履修や活躍、卒業後の活躍などが一覧として確認できるようにシステム化する必要がある。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・メンタルの弱い生徒に対して、どのような対策をしているのか?
→昨年度に引き続き、親子塾を活用するため、強化をしてきた。例年より相談者は少ないが、精神的に不安定な生徒や学習障害等の生徒が増えてきていると感じている。しかし、面談を密に行うことで、学校生活は楽しく過ごせている様子である。
- ・上手く状況によって、対応ができていたのであれば安心である。
- ・大変な生徒が多くなっていると思うが、先生自身が自信を持つことが、良い学校になるのでは。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・オープンキャンパスから入学。卒業までの状況を把握することが、大切である。卒業後も、学校が中心となり、いろいろな情報を集約してもらえると、リクルートにつながっていくのでは。

今後の改善方策

- ・時代に合わせて授業を組んでいく。また、今年度は仮校舎のため、外出許可を出したことが良い気分転換になっていると感じている。新年度については今後、検討していく。
- ・先生自身が、カウンセリングのセミナーを受講し、自分自身のことを気付くことが出来た。今までより、生徒に対して、本質を見抜きながら耳を傾けていく。

(基準3) 即戦力になる人材育成のために、カリキュラム内容や各教科の明確な目標達成と、成績評価を行う。本年度も「必修選択科目」の指導体制を充実させて「幅広い教養」「人間力」および「社会人基礎力」などの育成を図る。2学年選択授業にカットとブライダルを取り入れた。選択ネイルにおいては、JNAの認定校となり、ジェルネイル検定を取り入れた。コロナ渦であるため、教育活動において、学びの場を止める事の無いように、一人一人の生徒の状況に対応しながら進められた。

- ・到達目標を明確にし、成績分布表や誤答率などで生徒一人一人が、自分自身の分析をして改善していく方向に促している。

- ・シラバス作成においては、担当外部講師と担当職員で検討し、教務主任、校長へと繋げて教育課程編成委員会で検討しながら決定している。シラバスを基に、自宅待機学習の際にも明確に指示することができた。
- ・実務実習の回数を増やした。1 学年 1 月の実務実習は感染拡大防止のため、2 学年へ延期した。
- ・目標達成値は担当外部講師と担当職員で検討し、シラバスと共に生徒へあらかじめ周知している。各教科の到達目標に向けて適正な時期に修正しながら指導し評価をつけている。外部講師、非常勤講師と密に連絡を取り合っているため、人材育成に向け熱心に取り組んでいる。
- ・授業アンケートや、生徒満足度調査など随時行い、教職員全員が共有し、常に軌道修正を行っている。資格に関する授業はすべて担当職員が生徒による評価を実施している。生徒および教職員のモチベーションを喚起し学生のニーズに応える教育環境の実現のためにも「即戦力として社会に通用する人材の育成」という本校の教育理念を踏まえた評価体制を構築していく。
- ・職員研修のための講習会を実施している。新しい技術にも対応して研修を行い、これからの美容業界のニーズに合ったものかを検討し取り入れていく。感染防止対策を優先とし、各校の教員間の連絡を密にして、授業計画を進めることができた。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・サロン側から、パワハラが原因で辞めるケースが増えていると感じている。新入社員の指導方法に悩んでいるサロンが多い。オンラインに慣れているためか、教える側の意図を理解する力が育ってないのでは。在学中に、受け取り方も教えておいてほしい。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・オンラインは仕方がないと思うが、基本的には、美容業は手の職であるという部分を忘れないでほしい。サロン側も、時代に沿って新人教育を工夫している。Y o u T u b e を活用し、①研究②デモストを軸にし考える授業にしていくべきである。学校として、考える人を育てられることが今後、求められるのでは。

今後の改善方策

- ・学校関係者委員の先生方の意見を前向きにとらえ、教育活動は学校として重要な部分であるため、今後に一層、反映させていきたい。

(基準4) **総括**：入学から卒業まで、そして卒業後にはたくましく成長し続け、美容の技術者として活躍できる社会人の育成を目指す。

- ・令和2年度美容師国家試験 93.8%、日本エステティック協会認定上級エステティシャン 100%
- ・今年度は休学者2 学年2 名、退学者2 名。1 学年休学者3 名、退学者4 名。併せて休学者5 名、退学者6 名となった。生徒への学習意欲を駆り立て、個々に合わせた指導と、教員の連携を行ったが、日常生活における精神の不安定や、金銭面からなる目標の揺らぎなど様々な要因である。担任だけでなく、学校全体の問題として取り組み、目標を見失わないような、魅力的なカリキュラムを取り入れ、社会人としてのたくましさを育てる教育をしていく。
- ・時代に沿った、指導方法を検討しつつ、教職員のスキルアップのための講習を行っている。「辞めない学生の育て方」セミナーは、今の生徒の特長を理解し、データを参考にしながら指導できる、新しい内容であった。更に深めていく為に何回か講習を行う必要がある。
- ・令和3年 オンラインバトルヘアデザイン画部門 優勝 カット部門 優勝 準優勝 3 位
ラグゼビューティフォトコンテスト 入選 2 名
ケセラランパサランフォトコンテスト 入賞 1 名

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・オンラインバトルや全国規模のコンテスト経験は、卒業後の美容師人生にとっても大事である。引き続き、前向きに取り組んでほしい。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・『やめない学生の育て方』セミナーとは？
→折れない学生の育て方として、脳科学の観点からデータ化したセミナー。個人性質をデータ化し、そのらしさを先生が把握し、計画的にアドバイスしていく事が大切。性質を理解した上で教育していく。
- ・生徒のパーソナリティに合わせた指導をしていくことは、とても素晴らしい。上手く活用してほしい。

今後の改善方策

- ・受け入れた生徒を卒業まで責任を持って、指導していきたい。

(基準5) **総括** 新型コロナウイルス感染防止対策として示された、文部科学省「学びの保証」へのガイドラインに沿って修学支援を推進する。

令和3年9月23日(木) Beauty Collection 長野校松本校の合同開催を各校の取り組みとして実施
新型コロナウイルス影響により、1回目・2回目共に就職ガイダンス県内サロンのみ実施
オンライン形式の面接・見学のサロンが増加したため、対応できるよう準備し、実施している。

- ・まず信頼関係のある担任が相談にのり、専門のカウンセラーと連絡をとって対応していく。校長中心に学校全体で連携し解決に導いている。感染の疑いがある生徒に対して、担任や学年からのオンデマンド授業や課題作成を行うよう指示を出し、学びの場を止めることなく実施できている。また、体調確認や意識調査などにより、早めの対応を行うことができた。教職員のメンターとしてのスキルアップをしていきたい。
- ・長野県からの感染防止マニュアルを基に、本校での感染防止マニュアルを作成し、毎日の健康観察と新しい生活様式を徹底した。
- ・各種コンテストへ積極的に参加できる体制を整える。美容の仕事の意義と魅力を伝える。
- ・欠席が多い、授業に集中できないなどの問題のある生徒は、早めに保護者と連絡を取り合い、改善の方向へ行くよう協力して取り組んでいる。感染状況によって不安な保護者もいると思われるため、随時感染対策などの本校の実施状況をオクレンジャーなどで通知している
- ・令和3年度新型コロナ感染防止策として、県内サロン32店舗に限り5月1回目の就職ガイダンスを行った。6月第2回においても県内サロン31店舗のみ実施した。
- ・オンライン形式の面接・見学のサロンが増加したため、対応できるよう実施。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・就職内定率100%も大切だが、サロンの決め方も重要なのでは？入口がせまい、入りづらい方が辞める確率も減るのでは。きちんと自分に合ったサロンを見極めて決定してほしい。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・本人が求める100%のサロンはない。面接のみで見極めるのは難しいのでは。
サロン自体も、経営のむずかしいサロンも増えている。無駄な人件費は払えない。選び抜いていくシビアな時代。

今後の改善方策

- ・就職活動内容が、変化してきているため、今後もより一層時代に沿った就活ができるよう、就職部と協力していく。
- ・サロン側が求めている人材。サロンの特徴など学校として事前把握をしている。サロン決めについては、マッチングアプリに近い感覚である。生徒の求めるサロンをきちんと見極め、指導していきたい。社会人として、働く意味合い。雇われているという感覚を学生のうちにきちんと教育していく。

(基準6) 仮校舎のビル内で過ごしていく中、配慮しながら気持ちよく過ごす配慮ができてきた。

特に挨拶、礼儀、整理整頓と共に、落ち着いた学びの環境にすることで社会人としての振る舞いも身に付けてきた。

仮校舎では実施が難しい技術は、サロンのご協力により実施していく。

2年間で習得できるように、昨年度から来年度にかけて計画的にカリキュラムを組んだ。

2年生美容科では、選択授業にパーマを組み込めなかった分、カット、ブライダルを選択科目を取り入れ、より専門的な技術習得ができた。サロンのご協力により、実務実習でシャンプー技術を教えて頂いた。

- ・清掃する方の事を考え、使用させていただいているという気遣いができてきている。
- ・実務実習の回数を増やし、感染防止対策を徹底しながら可能な限り行っていった。
- ・1年間の仮校舎では、この場所ならではの学べる体験を、計画していたが感染予防のため、なかなか実施することができなかったが、ビューコレでのヘアショーは北野文芸座で実施することができた。また、終息していた1学期終業式前に学生主体の大運動会を行うことができた。オープンキャンパスでは、係長中心に学生が主体となって行うことができた。
- ・昨年度に引き続き、オクレンジャーに登録。感染防止対策の他、防災についての連絡を行っている。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・シャンプー実習において、各サロン差があったと思うが、問題はなかったのか？
→各サロン差はあったが、全体的には丁寧に教えて頂き、良かったとの感想である。シャンプー技術をサロンが忙しく、指導できなかつた点について、新年度カリキュラムにてフォローしていきたい。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・仮校舎で大変な部分があったと思うが、町全体は活気が出て良かったのでは。

今後の改善方策

- ・仮校舎での学校生活は、生徒たちにとってとても良い経験となった。新校舎でも、この経験を活かし、質の高い生徒育成に力を入れていきたい。

(基準7) **総括**：継続して学生募集に力を入れていく。

- ・生徒募集においてネット出願の受け入れ態勢の準備を令和6年度募集までに構築する。打ち合わせを開始している。
- ・学園HP内容リニューアル準備業者に依頼し、進めている。
- ・ネット広告の検討開始。
- ・令和5年実施に向けて入試制度・特待生・指定校の見直しをし、募集要項作成済である。
- ・令和5年度学生募集から推薦入試選考方法の変更をし、募集要項作成。
「特待生入学者、指定校入学者において事前作文提出と当日面接」
- ・令和5年度より実施する入学願書（志願理由書）の準備を開始している。
- ・在学特待制度の設立については、検討中
- ・令和6年度学生募集までにWeb出願制度を構築するため、業者との打ち合わせを実施した。

- ・新入学制度説明のため、5月・6月高校廻り実施準備を開始している。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・生徒募集において、学校として真剣に考え取り組んでいる事に安心した。今後も継続して、魅力ある学校をアピールして行ってほしい。
- ・DM・チラシ・TVCM等の活用も大切であるが、インスタ広告が効果があるのでは？
→導入する方向で、検討していきたい。
- ・生徒募集枠の方策として、ビューティビジネス科社会人枠の募集は良い考えだと思う。カルチャースクールとの差を出しながら、オンライン形式も可能では？入口として、興味を持ってもらえる事が重要である。
- ・レンタルスペースの貸し出しを行っている。学校イベントでも利用できるのでは。
→ビューティビジネス科アゲインでのイベントが実施出来ていないため、参考にし検討していきたい。
- ・学校の特色として、生徒に対し教育・就職活動など真剣に向き合っている学校であることが、1番のアピールポイントだと思う。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・他業種の専門学校の情報を参考にしても良いのでは？特色づくりとして、コース選択できるような変化も今後、必要になってくるのでは。サロン経営も自由に変化している。学校も自由に選べる時代である。

今後の改善方法

- ・学校の特色をきちんと伝えられるような広報活動をしていく。委員の先生方から頂いた意見を参考にし、前向きな方策を検討していく。
- ・しぼる教育の時代ではないと感じている。常に時代の方向性を敏感にキャッチし、生徒目線の学校にしていく。

(基準8) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準9) ・全職員が重点目標に対し理解を高めて、自己評価し問題解決に向かっている。

- ・定期的に自己評価委員会及び関係者委員会を実施し、定期的に自己評価を行い、随時公開していく。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準10) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

2. 重点目標について (別紙1参照)

(1) 令和3年度重点目標実施報告

現時点で令和3年度重点目標の実施状況の報告

- ① 「教育活動」美容技術や人間力の向上
- ② 「学生支援」学校生活の充実
- ③ 「学生募集」学校の魅力と美容の魅力を伝えていく

- ・入学から卒業まで、そして卒業後にはたくましく成長し続け、美容の技術者として活躍できる社会人の育成
- ・礼儀を重んじ、人との出会いを大事にし、人の言葉や思いに寄り添える人材
- ・仮校舎でのオープンキャンパスの不安はあったが、新しい試みや、在校生の盛り上げにより、高校生にも満足していただける結果となった。
- ・以前より在校生のインスタがあったが、生徒会中心となり毎日投稿を実施する事により、インスタのフォロワーが増え、在校生の愛校心にも貢献したと思われる。
- ・在校生と共に魅力を伝えるという目標は達成できたと思われる。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・重点目標に対して、考え・方策が変化していることが大事である。問題なく行われている。
- ・学生を1番に考え、よく見て対応していくことが必要である。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・インスタに、卒業生インタビューもあっても良いのでは。サロンとしても、リクルートに繋げる良い機会となる。

今後の改善方策

- ・昨年度より質の高い学校となるよう、全職員が共通意識のもと、1つ1つを大切に考え、具体的方策を協議しながらすすめていく。

(2) 令和4年度実施目標 (別紙2参照)

- ① 教育活動 自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力
- ② 教育環境の整備 生徒育成のための教員としての力をつける
- ③ 学生募集
 - 生活習慣の基本
 - 専門的な知識
 - 教職員の技術力向上
 - メンターとしての指導力向上
 - リサーチを行い、新しいアイデアと実行力で日々改善
 - 在校生、卒業生、業界と共に魅力を発信

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・卒業生を上手く活用していくべきである。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・重点目標をきちんと考えられているので、目標達成に向けて頑張ってもらいたい。
- ・新しい時代・環境に合わせてアプローチ方法を変化させていく必要もあるのでは。

今後の改善方策

- ・昨年度より質の高い学校となるよう、全職員が共通意識のもと、1つ1つを大切に考え、具体的方策を協議しながらすすめていく。

3. 次回予定

令和4年度第1回学校関係者評価委員会 令和4年8月3日(水) 10:30～